



シャローム shalom

No.162
2022.春号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



新型コロナウイルスとの戦い ～中央検査部の取り組み～

もりさか あき
中央検査部 森坂 亜希

2021年は新型コロナではじまり、新型コロナで終わりました。2022年に入り、いったん落ち着いたかと思われた新型コロナウイルス感染が、オミクロン株によって猛威をふるうこととなり、当院でも発熱外来に患者さんが押し寄せました。

新型コロナウイルスが蔓延してから、看護師や医師の負担が増大している状況で、中央検査部としてなにか貢献できることはないかと考え、同ウイルスに対する抗原定量検査やPCR検査を検討してきました。検査の導入にはさまざまな課題がありましたが、検査技師や病院スタッフの協力のもと、問題をクリアすることによって、当院の検査体制を整えることができました。また看護

師の負担軽減を目的として、検査技師が発熱外来に出向し、検体採取や検査を行うことを考え、発熱外来で役に立てるよう努力してきました。

今回のパンデミックは、多くの医療施設で初めての経験だと思われます。これに対して、試行錯誤しながらも、患者さんの検査を正しく行うことはもちろんですが、職員の健康も守らなくてはなりません。精度の高い検査、適切な検体採取、迅速な報告に加え、感染防御に努めてきました。今回の経験で、中央検査部がより成長できたことは、新型コロナウイルスが蔓延による数少ない正の効果だと思われます。これからもさまざまな苦境を乗り越え、当院の医療に貢献できればと思います。

ま と ば よ し き
循環器内科主任部長 **の場 芳樹**



京大病院、京都桂病院、島原病院（現 しまばら病院）に勤務しておりました。狭心症、心筋梗塞に対しての心臓カテーテル治療などを中心に従事しておりましたが、これからは早期診断、カテーテル治療後の管理とフォロー、予防など幅広く循環器内科診療にあたっていきます。

さ さ が さ こ な な よ
産婦人科医員 **笹ヶ迫 奈々代**



日本バプテスト病院には産婦人科医になりたての2017年10月から半年間勤務させていただきました。その後、静岡県立総合病院、国立循環器病研究センターで勤務し、またご縁があり戻ってまいりました。その間、出産・育児で休職や時短勤務していた期間がありますので、また勉強し直して一日も早く戦力となれるよう精進してまいります。2人の子どもを抱えながらの勤務ですのでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

まつもと さ え
産婦人科医員 **松本 沙英**
2022年2月1日着任



これまで京都大学附属病院、静岡県立総合病院で診療しておりました。前職では悪性腫瘍手術や腹腔鏡手術、産科全般を中心に学ばせていただきました。至らぬ点もあるかと思いますが、最善を尽くして診療にあたります。どうぞよろしくお願い致します。

つゆき かおり
産婦人科医員 **露木 香**



この度日本バプテスト病院に勤務させていただくこととなりました、露木香と申します。これまで、京都大学医学部附属病院、静岡県立総合病院、公立豊岡病院で勤務してまいりました。周産期、手術、ヘルスケアなど産婦人科の各領域をさらに深く学び地域の皆様のお役に立ちたいと思っています。

色々和不慣れな点が多くご迷惑をおかけすることと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

Relay Column

バプテスト老健 **リレーコラム**

vol.8

地域との交流 ～体操教室を通して～

いのうえ まさよし

理学療法士 **井上 真佳**



老健の地域貢献委員会の取り組みとして2021年12月8日（水）に京都地域支援事業花友いきいきサロンで理学療法士による体操教室をさせていただきました。13名の方にご参加いただき、休憩やお話する時間も交えながら、ロコモティブシンドロームについての説明と、その予防のための座位運動や、負荷をかけてより効果的にできる立位運動、指先を細かく動かす頭の体操の紹介、立ち上がりテスト、2ステップテスト等の体力測定を行いました。体力測定では他の参加者に負けまいぞと言わんばかりに皆さん真剣に取り組まれていました。最後に地域貢献委員会で作成した「元気もりもり体操」の紹介をして、ご参加いただいた方々と笑顔溢れる充実した時間を共有することができました。地域貢献委員会では、今後も定期的に体操動画の企画、撮影、編集を行い、地域の方々に楽しく意欲的に参加していただける取り組みを継続していきたいと考えています。今回、ご参加いただいた方々のご意見、ご要望を確認したところ、体操教室の開催を希望されている方が大勢おられることがわかりました。今後も、このような機会を活かして地域の皆様と交流できる事を楽しみにしています。

薬でつなぐちよつといい話

vol.35 湿布の種類とその特徴について

さとう かずお
薬剤部 **佐藤 和生**



病院での湿布の処方枚数制限があるため、自身で購入する機会もあります。今回は湿布の種類と特徴について説明します。

湿布には、薄いタイプの「テープ剤」と厚いタイプの「パップ剤」の2種類があります。「テープ剤」は粘着性が優れていて伸縮性が高いため、動きの多い膝や肘の場所に使いやすい剤型です。「パップ剤」は基材に水分が含まれているため、肌への負担が少なく、しっとりとした貼り心地で貼り直しも可能です。また冷感タイプと温感タイプがあり、一般的に捻挫、打撲といった急性炎症は冷やすことが、腰痛、肩こりといった慢性炎症は温めることが良いと言われています。しかし、どちらの湿布も痛みや炎症を抑える成分を用いているため、湿布としての効果は同じですので、貼り心地のよいものを選んでみるのも良いと思います。

一方で湿布の中には貼ったところを日光にあてることにより、過敏症状（発疹・発赤、かゆみ、はれなど）のかぶれが起こるものがあるので外に出かける時は注意が必要です。

湿布を選ぶ際の参考になったでしょうか。購入する時は湿布の注意点を確認して正しく使用してくださいね。



健康・栄養

第45回～自律神経を整えるストレッチ～

しみず けんた
作業療法士 清水 健太



春は環境の変化が大きくて忙しさを感じやすい時期です。忙しさが少し落ち着くのがゴールデンウィークですが、大型連休の終わりに気をつけたいのが5月病です。5月病になる人は、環境の変化によるストレスを抱えていたり、疲労を溜め込んでいる傾向がみられます。新型コロナウイルスも収束しないまま、楽しく外出できないご時世ですが、ストレスと疲労を蓄積しないようにすることが5月病予防につながります。自律神経は呼吸、循環、消化、免疫など生命維持に欠かせない機能に関連しており、その失調によって体のだるさ、便秘や下痢、頭痛などの症状が出現することもあります。

今回は家の中ででもできるような軽い運動を紹介します。

全身伸ばし

1. 足を肩幅に開きます
2. 大きく息を吸いながら手は交差し、指を天井の方に伸ばします
3. 息を吐きながら体をゆっくり右に倒します
4. 2の姿勢にもどり反対側も行います



肩幅

息を吸いながら天井まで伸びる

手はクロス

息を大きく吐き左右に倒す



ONE POINT

猫背で姿勢が悪くなると、血流が悪くなり、呼吸も浅くなり、交感神経が優位の状態になることが分かっています。

背中の上層の筋肉は2つの大きな筋肉があります。僧帽筋は頭にも付いている筋肉なので、全身伸ばしで刺激することで血流改善にもつながります。



聖書の小道

第52回

「イエスのギフトが 充満するところ」

イエスは町や村を残らず回って、

会堂で教え、御国の福音を宣べ

伝え、ありとあらゆる

病気や患いを癒された。

マタイによる福音書
9章35節

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



「聖書の小道」は2012年に始まりました。第一回目は、病院設立聖句の「イエスは町や村を残らず回って」という記述から、イエスが人々に出会うために出かけて行かれたように、自分の歩数も重ねていきたいと記したことを覚えています。10年経った今、同じ聖句からは、イエスが「病気や患いを癒された」ことに思いが向きます。当医療団の理念である「イエス・キリストの隣人愛に基づく全人医療」を考える上で、イエスの癒しは、一対一の関係性の中でなされていたことに気づかされたからです。イエスは、一度に大勢の人を癒すことはなされませんでした。

今年は4月17日が主の復活日、イースターです。主は復活の後も、弟子たちに出会い、裏切りを赦し、再び関係の中に招き入れ、平安を与えてくださいました。その主イエスに出会って、弟子たちは力を得、再び生き生きと歩きだすことができたのです。

イエスの関わりは、いつだって、「私」と「あなた」の関係です。このイエスの関係にならうところ、そこに、主がくださるギフト、愛と癒しと平安が、わたしたちの間に充満するのです。

整形外科主任部長 兼
リハビリテーション科主任部長

なかがわ やすあき
中川 泰彰



皆様、初めまして。前任地は、国立病院機構
京都医療センターで、3月末で65歳の定年退職
となり、4月から当院でお世話になります。京都大学相撲部
のOBです。国際相撲連盟や日本相撲連盟の医務委員で現
場に出ることも多く、国民体育大会の京都府選手団帯同医
師もしている関係で、ドーピング検査を受ける可能性のある
選手が来院することもあります。彼らには、受診時、「ドー
ピング検査を受けることがある」と言うよう指導していま
す。そのような患者さんには、くれぐれも禁止物質を処方し
ないよう、ご対応よろしくお願ひいたします。

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための
財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随
時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での
送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2021.11.1-2022.1.31) 敬称略

鈴木桂子 宇田眞子 和歌山バプテスト教会
グループホーム北白川 木原桂二・静 横山操
米澤ムメ 西南幼稚園 同志社女子高等学校
川勝高宏 西南学院バプテスト教会
認定こども園紫野幼稚園 ペスタロッツ保育園

どい けんたろう

糖尿病内科主任部長 土居 健太郎



このたび縁があり、4月1日から日本バプテ
スト病院で勤務させていただくことになりまし
た土居健太郎と申します。京都大学での大学院生活のあと
は国立循環器病センター（現 国立循環器病研究センター）、
洛和会音羽病院、高島市民病院で糖尿病診療に携わってい
ました。糖尿病は全身疾患のため、循環器内科、眼科はもと
より多くの科との密な連携と多職種チーム医療が重要です。
また、地域の病々連携、病診連携が不可欠ですので、地域に
密着した診療体制を大切にしたいと考えています。なにとぞ
よろしくお願ひ申し上げます。

きとう こういち

麻酔科部長 鬼頭 幸一



ここ40年近く麻酔科で勤務してきました。
前任者の久下先生は私が入局した時の指導医の
おひとりでした。その後津市民病院、京都大学病院、神戸
市立中央市民病院を経て、2000年に滋賀県立成人病セン
ター（現在の県立総合病院SGH）に赴任し22年の勤務の
後定年退職を迎えました。この度久下先生のバプテスト病
院退職にあたり、福田前教授のご推薦でJBH赴任の運びと
なりました。また再び京都の地を踏むことができ、毎日通勤
が楽しいです。

手術室の麻酔に加えペインクリニック外来も行っておりま
した。コロナ下の厳戒態勢を味わっております。今後ともよ
ろしくお願ひいたします。

ながい さち

小児科医員 長井 佐知

昨年度は京都大学医学部附属病院にて後期研修1年目の
スタートを切り、難治疾患・重症患児の診療に携わらせてい
ただきました。

この度はご縁あって日本バプテスト病院に半年間勤務さ
せていただくことになりました。京都に暮らす子どもたちの
健康を守るお力になれるよう日々精進してまいります。ま
た、ご家族の皆様と子どもたちの成長と一緒に見守り、嬉し
い気持ちや幸せな気持ちを共有させていただくことができ
ればと思っております。

不慣れな点も多くご迷惑をおかけすることもあるかと思
いますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.162 2022年4月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 尼川 龍一 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。